

### Information

#### Information 1

健康教室のご案内 ※ 詳細につきましてはホームページをご覧ください

#### ■ 糖尿病教室

日時:2013年3月19日(火)14:00~15:00  
場所:神鋼病院呼吸器センター5階 大会議室  
内容:『がん・動脈硬化について』  
『コストについて』

#### ■ 関節の痛み教室

日時:2013年4月20日(土)14:00~16:00  
場所:神鋼病院呼吸器センター5階 大会議室  
内容:『痛みの原因とは?股関節・膝関節を中心に』  
『薬について』、『最近の手術方法』  
『手術予防のリハビリ』など

#### ■ ラジオ健康情報番組「健やかライフ」

日時:2013年4月22~26日  
ABCラジオ(1008kHz)11:43~11:53  
RSKラジオ(1494kHz)15:30~15:40  
内容:『関節の痛み』について  
講師:神鋼病院整形外科 部長 武富 雅則

#### ■ 第8回膠原病リウマチ教室

日時:2013年5月25日(火)14:00~16:00  
場所:神鋼病院呼吸器センター5階 大会議室  
内容:『未定』  
演者:膠原病リウマチセンター  
センター長 熊谷 俊一

- ・神経内科  
「脳卒中の後遺症」  
・上下肢痙縮の治療について
- ・新入職医師のご紹介
- ・Information  
講演会のご案内
- ・ヘルシーレシピ  
豆腐のあさりあんかけ

■ 神鋼病院理念  
地域医療に貢献し、  
信頼される病院を目指します。

- 基本方針
1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
  2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
  3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
  4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
  5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院  
〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47  
TEL: 078-261-6711 (代表)  
FAX: 078-261-6726  
発行責任者: 病院長 山本 正之  
編集責任者: 神鋼病院広報委員長 山本 和彦

# 神経内科・脳卒中の後遺症 [上下肢痙縮]の治療について

じょうかしけいしゆく

## 上下肢痙縮の症状

手指が握ったままとなり、「開こうとしても開きにくい」、「肘が曲がる」、「足先が足の裏側のほうに曲がってしまう」などの症状がみられます。



**はじめに**  
神経内科では神経疾患全般を担当しており、「頭が痛い、手足がしびれる、歩きにくい、ふらふらする、手が使えない、目が開けにくい、首が曲がる」など、様々な訴えの方が紹介受診されます。そのなかで、最近、「上下肢痙縮」の治療で受診される方が増加しています。上下肢痙縮は脳卒中、頭部外傷など脳の病気の後遺症として、手足がつっぱって動かしにくく

なる病気で、脳卒中の治療について一般的な流れと、当院が取り組んでいる「脳卒中の後遺症の治療」について、概説します。

## 脳卒中は予防が大事

脳卒中には大きく分類して、脳の血管がつまる「脳梗塞」と脳の血管が破れる「脳出血」があります。どちらも、ある日、突然発症する病気で、「手足が動かない」「意識が戻らない」「目が見えない」など重篤な後遺症が継続し、命に関わる場合も少なくありません。発症してしまうと治療は困難であるため、発症を予防す

ることが最も大事です。血圧の調節、高脂血症の治療、糖尿病の治療、喫煙しないなどが、血管を良い状態に保つことが発症の予防になります。



神経内科 医長  
松本 真一  
Shinichi Matsumoto

平成5年に高知医科大学を卒業。  
日本神経学会認定医・指導医、日本内科学会認定医、日本臨床神経生理学会(筋電図・脳波)認定医などの資格を持つ。



## 脳卒中発症後の急性期治療

脳卒中が発症してしまった場合は迅速な治療が必要です。「片側の手足が動かなく



ヘルシーレシピ  
— Healthy Recipe —

管理栄養士 田中 利幸

## 豆腐のあさりあんかけ

あさは、うまみ成分の「コハク酸」が多い貝です。また、造血作用のあるビタミンB12の含量が貝類の中ではトップクラスです。コレステロールを下げる働きのあるタウリンも含まれていますので、貧血と動脈硬化の予防に効果的です。



### 【作り方】

- ① 豆腐を適当な大きさに切り、茹でる。
- ② あさを砂抜きした後、塩ゆでをして身を取りだす。
- ③ にんじんを長さ2cmの千切りにし、玉ねぎ、えのきも2cmの長さにそろえる。
- ④ 鍋に白だしを煮立て、にんじん、玉ねぎ、えのきの順で入れる。にんじんと玉ねぎがやわらかくなったら、あざりとさやえんどうを入れ、塩で味を調え、水で溶いた片栗粉でとろみをつける。
- ⑤ ④を盛付けた豆腐の上にかける

### 【材 料】 2人分

- ・絹ごし豆腐 280g (約1丁)
- ・あさり(むき身で) 60g (約15個)
- ・にんじん 40g (1/3個)
- ・玉ねぎ 40g (1/8個)
- ・さやえんどう 16g (4枚)
- ・えのきたけ 60g (1/3株)
- ・白だし 適量
- ・片栗粉 適量
- ・塩 少々

【1人分栄養量】 111kcal、たん白質10g、脂質4.4g



なった」、「物が二重に見える」、「フラフラして吐き気がする」などの症状が出たら、自宅で様子をみないですぐに病院を受診することが大事です。発症早期に血栓を溶解する治療で、症状の改善をうながす技術が近年急速に開発、改良されています。発症早期の治療で、後遺症を残さず退院する症例もありますが、後遺症を残す方が多いのが現実です。

### 脳卒中発症後のリハビリテーション

安静にしなければさらに病状が進行する場合を除き、発症直後からのリハビリが望ましいとされています。急性期治療終了後もリハビリが必要です。リハビリ専門

リハビリは、人にやってもらうものではなく、基本的には**自主トレ**です。上下肢痙縮の治療は、リハビリをお手伝いするものです。完全に回復することを目標に、**日々積みましょう！**



### その他の治療について

ボツリヌス治療は、治療直後に効果が出ないため、アルコールブロック治療（すぐに効いて、すぐに効果がなくなる治療）で有効な治療部位を検討したうえで、ボツリヌス治療をする方法をとっています。

また、ボツリヌス治療直後3時間以内に筋肉を動かすとより効果があることが報告されているため、ボツリヌス治療後に電気刺激治療で麻痺した部位を動かす治療を試みています。

ボツリヌス治療は3ヶ月間効果があり、効果がある期間にリハビリをし、機能回復を促すことが重要です。従って、ボツリヌス治療後のニューロリハビリテーションについて

病院での治療が望ましい場合は、転院してリハビリを続けます。自宅へ退院する場合は普段の生活の場がリハビリになります。「食事をする、トイレに行く、風呂に入る」そうした基本動作の積み重ねが脳の機能改善につながるのです。

### 「上下肢痙縮」の治療は発症1年後から

脳卒中発症後、徐々に機能回復してきた手足の症状も、しだいに頭打ちとなり、あまり改善しなくなります。通常のリハビリが頭打ちとなる発症1年後から、希望（依頼）のある方は「上下肢痙縮」の治療をしています。治療の中核は【ボツリヌス治療】です。

さらに、アルコールブロック治療、磁気刺激治療、電気刺激治療、ニューロリハビリテーションを取り入れて総合的に治療をしています。

理学療法士と相談しながら治療をすすめています。

### 上下肢痙縮の治療は発症1年後から

上下肢痙縮の治療は、緊張している筋を緩めることで、より良いリハビリをすることが目的です。残念ながら、筋が緩んでいる方には効果が期待できません。

また、リハビリはしてもらったものではなく、自分で頑張つて取り組むものです。したがって、「患者さん自身がリハビリに対する意欲がない」というような方には効果が期待できません。上下肢痙縮治療後のリハビリに関しては、今のところ特別なものはありません。今いる施設でのリハビリや自宅での取り組みが重要になります。

### おわりに

これらの治療をなるべく多くの方に受けていただくために、当院では1週間の入院で

### 「上下肢痙縮」とは

一般的に運動のしくみは、脳から伝達された電気信号が筋肉に伝わり、手足が動くと考えるとわかりやすいのですが、「上下肢痙縮」の治療を理解するためにはもう少し深く運動の仕組みを知る必要があります。脊髄(背骨の中の神経)からの出力は筋肉を縮めるのですが、「このくらい縮んでいます」という入力も脊髄に入つて

きます。脳からの命令がない場合、この入力と出力でグルグルと回るループができて、筋肉は勝手に縮んでいきます。脳から「止まれ」という命令がきているため、健康な人は筋肉が縮まらず自由に体を動かせます。(左図参照)つまり脳からのストップの命令で運動は調節されているのです。脳卒中ではこのストップの命令がこないため片側の「上下肢が痙縮」し、うまく動かせなくなります。

### ボツリヌス治療ってなに？

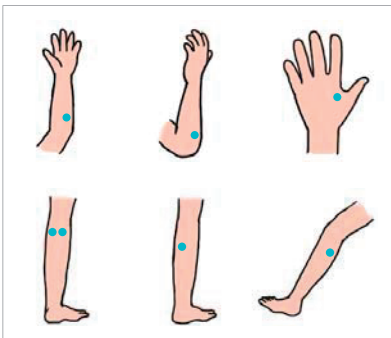
ボツリヌス治療とは、「ボツリヌス菌」という食中毒の菌から抽出したボツリヌス毒素という「毒」の注射です。

ボツリヌス菌は食中毒の菌で、この食中毒になると手足が麻痺して呼吸ができなくなります。この毒素を薄めたものを筋に注射し、痙縮した筋を緩めることで治療します。

ボツリヌス治療は1本10万円する薬剤(ボトックス注)を使用する治療で、安価な治療ではありません。当院では上下肢で計2本程度使用しています。



■ 運動の仕組み



■ ボトックス注を打つ場所

### 脳卒中治療のポイント

- ① 脳卒中は予防が大事。  
適切な食生活を！
- ② 脳卒中になったら、すぐに病院へ！
- ③ 脳卒中発症後は、リハビリを！

